

推進員等研修会に関するアンケート集計結果(参考資料編)

【アンケート内容】

推進員・協力員に配布したアンケートは以下の通り

兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会に関するアンケート

ご協力をお願い

兵庫県地球温暖化防止活動推進センターでは、全国地球温暖化防止活動推進センターより委託を受け、「兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会」を行っております。

昨年度は下記の日程で研修会を実施しました。(詳しくは別途お送りします報告書をご参照下さい)

平成 16 年度兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会開催状況

回	日程	場所	開催地域
1	H16.4.28	兵庫県公館	神戸地域
2	H16.10.28 ~ 10.29	スペースアルファ神戸	神戸地域
3	H16.11.29	宝塚市立男女共同参画センター	阪神北地域
4	H17.1.28	県姫路総合庁舎	中播磨地域
5	H17.2.18 ~ 2.19	ユニトピアささやま	丹波地域

昨年度の研修会の効果を把握し、評価することにより、今年度の研修会をより多くの方にご参加いただくとともに、昨年度以上に効果のある研修会としたいと考えております。

つきましては昨年度の研修への参加の有無に関わらず、次ページからのアンケートにお答え下さいますよう、お願いいたします。

なお、記入後は同封しております返信用封筒にて兵庫県地球温暖化防止活動推進センターまでご返送下さい。(返信用封筒には、本アンケート用紙以外は封入しないようお願いいたします。)

返送期限 : 平成 17 年 8 月 5 日(金)

氏名		推進員・協力員
----	--	---------

質問 1 昨年度(平成 16 年度)の「兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会(全 5 回)」に参加しましたか？

1. 参加した (参加した回全てに をつけてください)

回	日程	場所	開催地域
1	H16.4.28	兵庫県公館	神戸地域
2	H16.10.28 ~ 10.29	スペースアルファ神戸	神戸地域
3	H16.11.29	宝塚市立男女共同参画センター	阪神北地域
4	H17.1.28	県姫路総合庁舎	中播磨地域
5	H17.2.18 ~ 2.19	ユニトピアささやま	丹波地域

質問 2 にお進みください

2. 参加しなかった **質問 3** にお進みください

質問 2 質問 1 で「参加した」と回答した方にお伺いします。下記の質問項目について、

最も当てはまるものの番号に をつけてください。

	項目	とても そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
(1)	座学での講義や講義後の質疑で地球温暖化問題に関する知識の向上を図ることができた。	1	2	3	4
(2)	研修で使ったテキストや資料はその役に立っている。	1	2	3	4
(3)	この研修がきっかけとなって、受講した分野への関心が高まった。	1	2	3	4
(4)	この研修の内容を推進員・協力員としての活動に活かすことができた。	1	2	3	4
(5)	(4)で 1 または 2 と回答した方は、具体的にどのように活かすことができましたか。 3 または 4 と回答された方は、活かすことができなかった理由をお書きください。	例)「地域活動を立ち上げた」、「講師として地域で講義をした」、「基礎的知識が身に付いた」、「グループ活動に積極的に参加した」など			

質問 3 質問 1 で「参加しなかった」と回答した方は、その理由に当てはまるものに をつけてください。

1. 時間が合わなかった
2. 研修内容に興味なかった
3. 開催場所が遠かった
4. その他 ()

【ここからは全員ご回答ください】

質問4 - 研修会に参加したことにより、各地域の推進員・協力員や関連団体等の人材とのネットワークができましたか。あてはまる数字に をつけてください。

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない

左で回答されたことについて具体例またはその理由をお書き下さい

質問4 - 質問4 - で「1. とてもそう思う」または「2. そう思う」と回答した方に伺います。研修会の後、そのネットワークは情報交換などに役立っていますか。

1. とても役立っている
2. 役立っている
3. あまり役立っていない
4. 全く役立っていない

左で回答されたことについて具体例またはその理由をお書き下さい

質問5 今後、推進員・協力員の活動を充実させるうえで、どのような研修内容が必要と思いますか。自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

【アンケート回答一覧】

質問 1 昨年度の研修の参加状況

	回答者	昨年度実績	回答率
1回目	85	292	29.1%
2回目	28	52	53.8%
3回目	9	20	45.0%
4回目	8	16	50.0%
5回目	46	78	59.0%
不参加	41	131	31.3%

今年度からの委嘱者を除くと、回答者 34 名(26%)

質問 2 昨年度の研修の評価

研修会の参加者(全回答者)

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
(1)知識の向上が図れた	20	59	8	1	11
(2)資料がその後役に立っている	12	54	23	2	8
(3)受講した分野の関心が高まった	12	56	24	0	7
(4)研修内容を推進員活動に活かせた	11	48	30	2	8

第 1 回研修会のみ参加者

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
(1)知識の向上が図れた	2	22	7	1	8
(2)資料がその後役に立っている	2	16	13	2	7
(3)受講した分野の関心が高まった	2	17	15	0	6
(4)研修内容を推進員活動に活かせた	0	14	18	1	7

第 1 回研修のみ参加者を除く、昨年度研修会参加者

	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
(1)知識の向上が図れた	18	37	1	0	3
(2)資料がその後役に立っている	10	38	10	0	1
(3)受講した分野の関心が高まった	10	39	9	0	1
(4)研修内容を推進員活動に活かせた	11	34	12	1	1

[質問 2-(4)の理由]

「とてもそう思う」または「そう思う」と答えた方

- ・ 宝塚市民環境大学の環境学習リーダー養成講座の講師として、講義内容に有効な利用が行えた。
- ・ 様々な推進員・協力員の方及びひょうご環境創造協会のスタッフの方々と一生懸命勉強させて頂きました。
- ・ 地域活動を立ち上げた

- ・ 市役所地域環境課の職員と共に現状分析した
- ・ 地域のイベント(祭行事)でコーナーを設立して参加者に PR した
- ・ 生活の中で省エネとは自分の生活を少し改革するだけではよいと思った。風呂の残り水を洗濯に利用
- ・ 基礎知識を増やすことが出来たこと、又環境についての意識変化で海川での生態調査活動に参加中
- ・ こどもエコクラブを立ち上げた。
- ・ 講師として地域で講義をした。
- ・ 市民環境会議メンバーとして積極的に参加した。
- ・ 講師として地域での講義に新しい情報を必要としています。その点では(1)(2)は役に立てています。
- ・ 実際の活動に活かす前提として自己開発できた。
- ・ 新エネルギーに関する普及についての意見交換が活発となりました。
- ・ 特に理由なし
- ・ 講師として地域で講義をした。(阪神北泉民局、伊丹ホール)
- ・ 地球温暖化防止の推進に地域自治会とか地域活動者の集まりに活用できた。
- ・ 基礎的知識のつみあげに役立った。
- ・ レジ袋の討議が政策提言の動機になった。
- ・ 積極的に取り組む姿勢になった
- ・ 地域の仲間との交流が密になった
- ・ 地区推進員の連絡会代表幹事として例会、イベント等を開催し、地区推進員、協力員の参加を呼びかけ、ほぼ全員で活動するようになった。
- ・ 甲南大学のゼミ学生に PR し、彼らの活動を支援している。
- ・ 「こどもエコクラブ」を立ち上げた
- ・ 基礎的知識が身に付いて、大学生として講義に自信がついている。
- ・ グループ活動に積極的に参加している。
- ・ 基礎的知識(温暖化の現状など)が、まとめられており、地区の推進会等で議題として取りあげた課題の方向性がみつけやすい。
- ・ 神戸市西区の推進員メンバーの代表を務めているが、話題提供に用いている。
- ・ 地域に帰って、色々な機会・場で紹介できた
- ・ 5/17、赤穂にて環境プロジェクト設立についての打ち合わせ会が、市民会館にて行われた。
- ・ メンバーと一緒に参加する事により、後日の話し合いでいろいろな事を確認し合いすることの出来る点
- ・ 温暖化防止のための知識が得られた。
- ・ 所属する団体で子どもたちへ活用出来た。活動の手引きの記事が参考になった。
- ・ 子供を対象とするエコ活動を実地に進める時の助けになった。
- ・ グループ活動に積極的に参加した。
- ・ 主催する環境学習グループが市民向けの講座を開催した際、講師として情報を受講生に伝達できた。
- ・ 皆でディスカッションする事で、より自分の意見を確かなものとする事ができた。
- ・ 講師として前で話す事もでき、横のつながりもできてきた。
- ・ 個別の知識としてではなく、西欧での状況などから活動推進を後押しされた気持ちになった。
- ・ 講師としての自信と信頼を得るような内容になったと考えている。
- ・ 講師として中学校生徒を対象とする環境学習に参加した。
- ・ ひょうご出前環境教室での講演内容に反映することができた。
- ・ 知識の幅が広くなり、新しく関心をもつ分野が増えた。
- ・ 事象をより深く理解しようとするようになった。

- ・ 地域でグループ活動の方々にスライド等で啓発する場がもてました。
- ・ 積極的に参加できました。
- ・ 発表の仕方等、今迄を若干違った方法で効果的に活かされた
- ・ 伊丹市の「リサイクルフェア」に参加
- ・ 老人会他集会等話題として皆さんが関心を持って頂く話しが出来た。
- ・ 温暖化防止の知識が豊かになった
- ・ 地域での講演に活用
- ・ 地域市民塾を開催し、一般参加者へ「地球温暖化防止対策」についての学習を行った。
- ・ 地域でグループ活動をしている。
- ・ 地域での活動を模索する中で、推進員・協力員の協力体制作りが大いに役立っていると思われる。又、先進の諸団体との連携のなかでも役立っている。
- ・ NPO 環境 21 の会へ入会し、活動を始めた。
- ・ 地域に出前環境教室を企画し、啓蒙活動ができた。
- ・ 講師として講義した際に活かすことができた。
- ・ 各地で講師として説明する時の知識が更に重みを増して身についた
- ・ グループ活動に協力し合って、みんなで考えることにした。
- ・ 参加されているメンバーさんの活動に関心を高めました。
- ・ 地域での役割を感じました。
- ・ 地域での啓蒙活動の一助に使用
- ・ 最新情報として、知識の確認が出来た。また、これらの事を情報源として、環境にとどまらず、全ての県民運動に生かした。
- ・ エコチェックに参加
- ・ スローライフについて料理教室での食後の話しとして取りあげた。
- ・ 基礎的知識が向上した
- ・ 地域で講義をしたときに、講師の先生の資料を使わせてもらった(事前に先生に許可をとりました)
- ・ 資材の活用、実験面に活かすことができた。
- ・ 職場(郵便局)などで電気・水など節約をお願いしています。
- ・ 地域の活動に資料を提供したり、共に話し合う機会を持つ事が出来た。
- ・ 企業へ地球温暖化防止のアイデアや意見を書かせて頂いた
- ・ 近畿地方整備局、緑化(植栽)会議に出席させて頂いた
- ・ 子どもを対象とした学習会のプログラム作りに活かすことが出来た
- ・ 地域活動を立ち上げた

「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と答えた方

- ・ あまり活動をしていないので、生かす場がなかった。活動する時には役に立つと思う。
- ・ 現在活動している環境団体の活動分野と少し異なっているため
- ・ 地域活動への活用は、今のところできていない。今後活かせる機会は必ず訪れると思う。
- ・ 地域活動と研修会の内容上の関連が不十分であるように思える。
- ・ 研修内容が必ずしも地域活動に結びつくものとはなっていなかったから。
- ・ 「環境フェア」等の環境問題に関する啓発イベント等に参加するチャンスがほとんど無かった。
- ・ 地域で、パネル展示及び講話の場を持った。
- ・ 地域での活動に少しは役立っているのかもしれませんが、あまりその機会はありません。

- ・ 参加回数が少なかったので
- ・ 参加の回数が少なかった(日程の調整がつかず)ことでしょうか。
- ・ 活動が出来ていませんので、ごめんなさい
- ・ 時間が取れない
- ・ 研修が知識の向上にかたよりすぎ
- ・ 知識の向上にはなったが、まだ活用できていない
- ・ 基礎的知識は身についたが、チャンスが無く活かす事ができなかった。
- ・ 得た知識と活動した内容が違っていた為
- ・ やらないよりやる方が良い。やって効果の上がることも、もっと真剣に考えるべきだ！

質問 3 研修に参加しなかった理由

研修会不参加者 41 名中の不参加理由一覧(複数回答あり)

時間が合わなかった	22
開催場所が遠かった	17
今年度から委嘱を受けた	7
研修内容に興味がなかった	2
その他	4
無回答	7

質問 4- 研修会に参加することで、各地域の推進員・協力員等とのネットワークができたか

	研修会 参加者	研修会 不参加者	合計
とてもそう思う	6	0	6
そう思う	40	11	51
あまりそう思わない	38	12	50
全くそう思わない	11	2	13
無回答	4	16	20
合計	99	41	140

「とてもそう思う」または「そう思う」と答えた方

- ・ 宝塚在住の推進員の数名の方と話し合うことが出来て、12月5日に開催した宝塚グリーンメッセ及び7月13日開催の北阪神地区総会に於いても協力することができた。
- ・ 各地域の推進員・協力員の方々と生の言葉で、つながりを強く感じました。
- ・ 自己地域内でのネットワークができて推進員・協力員の連帯が強化した。
- ・ 北播磨地域のイベントに積極的に参加して、共に関連団体の人材の一員になった。
- ・ 地区のメンバーの顔も知らない、名前も知らない事からスタートし、一部の方より声も掛かるが...
- ・ 中播磨地域温暖化防止連絡会に参画させて頂くことができた。
- ・ 各地の活動推進員とワークショップなどで意見交換が出来て刺激を受けるとともに、ネットワークを拡げることが出来ました。頻繁ではないが情報交換をしたり、他の会合でも面識があるので親しくさせてもらっています。

- ・ 西区ネットワークづくりが出来ています。
- ・ 中播磨地域の方と一緒に活動出来ました。
- ・ 伊丹市で開催されるイベント等に参加。市内の推進員さん協力員さんと共に準備等にもたずさわっています。
- ・ 地域差はあるが、地域の問題で話し合いが出来たことが良かった。
- ・ 強いネットワークを感じた事はないが、あそこにああいう人があのような事をしているという意識は高まった。
- ・ 具体的に取り組む姿勢にお互いなれた
- ・ 1回目しか参加していないが、地域連絡会の総会でほぼ全員で顔合わせができ、その後の活動がしやすくなった。
- ・ 研修会とは関係なく、他の会に参加する事によりネットワークをつくっている。
- ・ 芦屋地区の方々と、数回行動している。
- ・ 自らの日常生活で地球温暖化防止対策を実践する。
- ・ 研修会・講演会等に積極的に参加し、推進員としての資質の向上に努める。
- ・ 地区推進員会で共通認識ができやすくなった。
- ・ 北区の方と親しくなった。
- ・ ネットワークまでは直接発展しないまでも、多くの人々と知り合いになれた。
- ・ 7月13日に宝塚市東港民間であった「阪神北地域連絡会」で宝塚市の代表に挨拶ができた。
- ・ 何回か顔を合わすうちに他市の人も話し合えるようになる点
- ・ 但馬のネットワーク作りについて意見交換ができた
- ・ 地区連絡会での関わりができた。
- ・ エコレンジャー 第2回全国こどもエコサミット参加
- ・ アースパル 地球温暖化と省エネルギー参加、こうべ環境展
- ・ 研修会に参加したことで、他の方の情報を得られ、情報交換できた。
- ・ 色々な活動に取り組まれている方々を知り、連絡できるようになった。
- ・ 研修会には参加出来なかったが、協会から案内のあるイベントに参加して、他の推進員との交流が出来た。
- ・ 他町の推進員との交流ができました。
- ・ 参考になる事も多くあり、良かったと思います。
- ・ グループリーダーをされた専門家の先生と面識を得て、くわしいお話を聞くことが出来た
- ・ 地域の推進員と積極的にグループ活動に参加しています。
- ・ 地域での研修会には参加させてもらいました。知人ができ、ネットワークもできつつあると思います。
- ・ いろんな意見交換が出来る
- ・ 自分自身の発展に役立つ
- ・ 実習やそれに伴うグループワーク等、各人の意見を交わす形式が取り入れられた研修会に於いて、親しくもなり、他の意見も聞く事ができた。
- ・ 阪神北地域研修会に参加し、地域の関係者の方々に会いました。顔を合わせたただけでしたが、とても力強く思いました。
- ・ 川西地区で知り合いができた。
- ・ 地球温暖化が身近な問題として皆さんから関心を持たれるようになった。
- ・ 同地域の推進員との交流にとどまっている。
- ・ 北播磨の推進員さんについては他の活動でネットワークができています。
- ・ 在住の市の地固めの段階だが推進員・協力員の連携、先進の環境諸団体との連携が徐々にではあるが、

前進している。地域もしかり。

- ・ 活動している団体、グループの人たちと交流ができ、共に活動できるようになった。
- ・ 研修会で会うと話が進むので、次からいい気持ちで会に向かえます
- ・ 明石市環境政策課からの案内や、東播磨地球温暖化防止活動推進連絡会員として活動できたこと。NPO 法人環境 21 の会の補助等
- ・ 省エネ活動、各種セミナーに参加のきっかけとなった。
- ・ 研修会での各人の体験談など、小さな事ですが地球温暖化防止に取り組む姿勢が感じられる。また、連絡網を作り役立っている。
- ・ 他の地区の活動にも興味を持つようになった
- ・ 私の知識向上がまず必要。その知識を次の活動に活かすかが課題
- ・ お互いに情報交換ができた
- ・ 風力発電、太陽熱に関心があり、3ヶ所ほど見学に行った。

「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と答えた方

- ・ 地域の連絡会には全く行っていないこと
- ・ センターの活動はマンネリ化しており、推進員の活動意欲を起こしていない。センターだけの自己満足におちいつている。
- ・ 温暖化だけでなく、循環型社会の充実のためにリサイクル、廃棄物処理など地域の総合的システムを構築する行政型システムにすべきだ
- ・ 研修会では親しく会話できたが、その後、協働する活動や再会の機会が全くなかった。
- ・ 交流の場が少なかった
- ・ グループ討議の内容によっているが、参考になる団体と接触出来なかった。
- ・ 他地域の推進員・協力員と、つながりは出来たが、その後の段階には至っていない。
- ・ 個人的なネットワークらしきものは出来たかもしれないが、活動に直結するようなグループ同志及び個人レベルでのネットワークは出来ていない。
- ・ 伊丹地域の中で推進員としてグループでの打ち合わせ会、イベントで顔を合わす機会が多く、他の地域(近郊であっても)のメンバーとの交流はあまり必要とは思わない。
- ・ 参加回数が少ないので、面識がない
- ・ グループワーク等で一緒に活動したメンバーと、その後交流する機会がなかった。
- ・ 研修会限りとなっている、翌日から別のことをしている。
- ・ グループ員は、遠くの人と取り組んでいるので、研修テーマはそのときだけ。グループ員同志の連絡もとれない。地域応用には知識不足の事が多い。
- ・ 地域において、本部と支部とは、いいコンセンサスがとれていないことから
- ・ 1回目だけの参加だから仕方がないでしょう
- ・ 1回の参加であったので、聴講のみでネットワークまで至っていない。
- ・ 出席された方の名前、住所 etc の認識が全く出来ていない状態で、一部の人しかコミュニケーションがとれない。
- ・ どの人がどこの人で、どの様なことをしているかわからない。
- ・ 1日ではとうてい無理がある。
- ・ 基調講演が多すぎる。又、時間がかかりすぎる。何か一つにテーマをしぼって、講演の後何班かに分かれて討議する時間を取ってはどうか
- ・ 自分が、積極的に活動できなかったから

- ・ 座学では無理
- ・ 第1回研修会のみでの参加であったので、参加者と交流する時間がなかった。
- ・ 相互交流の場が余りないため
- ・ その場限りになってしまう事が多い
- ・ 地域で活動されている人とは交流があるが、それ以外は機会がない。
- ・ 中播磨地域の参加者がほとんどいないため
- ・ ネットワークが出来るまでとはいっていないが、人材との交流はある。
- ・ チャンスが少ない。
- ・ 自治体の中に連携を活かすシステムが欲しい。
- ・ 自治体の取り組みが弱い。
- ・ ネットワークを作るという場ではなかった。
- ・ その場では名刺交換とかするのですが、お互い遠方であるせいか、連絡し合わない。が、名刺を頼りに連絡は取ってみたいと思う。
- ・ その後のフォローや地域間の交流が不足している
- ・ 他の推進員さんらの活動の内容は参考にさせてはもらえました。
- ・ 積極的な活動に入っていない
- ・ 交流、情報交換までにならない。ここが問題
- ・ 思い込みの強い人の団体が多く、ついていけない感じ
- ・ 「知識」入手の場だと思っているから。
- ・ 講座と質疑応答であり、ネットワーク等には関係なく関心もなかった。
- ・ 地域に高まり関心が少ないため
- ・ 連帯感、励み、刺激は感じます。
- ・ 離れた地域の人とは研修後、交流がない
- ・ 交流の場と時間が少なかった
- ・ 連絡方法がはっきりしない
- ・ 研修会にほとんど参加していないためだと思います。
- ・ 私個人の性格的な問題
- ・ 研修会が終わってから皆様すぐに帰られる方が多いので、あまりお話し出来なくて残念でした。
- ・ すでに尼崎市では推進員・協力員のネットワークは出来ている。
- ・ 真剣みがない

質問 4- 質問 4- のネットワークは役に立っているか

とても役立っている	3
役立っている	33
あまり役立っていない	13
全く役立っていない	0
無回答	8
合計	57

「とても役立っている」または「役立っている」と答えた方

- ・ 宝塚市民環境大学の環境学習リーダー養成講座において講師として、講義内容に有効に利用ができた。
- ・ ちよくちよく、推進員の方より郵送下さいまして、研修内容で勉強させてもらっております。有難うございます。
- ・ 北播磨地区の月例会(毎月)
- ・ ネットワークの強化各地域の情報交換が大変に密接した。
- ・ 他地区の活動～勉強会参加の声が掛かり、機会を作って参上したい。
- ・ 連絡会で計画される行事に参加させて頂けた。
- ・ 連絡会のメンバーの活動の報告を聞き、参考になった。
- ・ 質問4- 1に同じ
- ・ 例会が開かれています。代表者に感謝しています。
- ・ コープこうべの環境学習にも活用しています。
- ・ 省エネについての取り組み等についてアドバイスいただいたり意見の交換をしています。
- ・ 北播連絡会では企画するイベントに、丹波と東播磨の各連絡会に共催を呼びかけた。
- ・ 身近な地域で活動が必要で、学ぶ事が出来た。
- ・ 会合などで会って「あいさつ」する言葉の「ハシハシ」
- ・ 甲南大の学生の環境問題活動の支援に役立っている。
- ・ メール交換に道が開けた
- ・ 研修会ではないが、地区連絡会の中で情報交換が出来ている。
- ・ グループ設立時の主旨に添った活動の展開に基本的効果を実感しました。
- ・ 他の方の「できること」を知り、自分の活動でも活かせることがわかったから。
- ・ 一部だが、ネットワークが広がってゆく可能性がある。
- ・ イベント情報とか、先方の取り組み状況についての情報を入手できた。
- ・ 八千代町でふるさとまつりが開催されたとき、三木、加西、明石から参加され、自分たちの得意分野で活躍していただきました。
- ・ 他地域から依頼とか...
- ・ 窓口になってグループの中で活動
- ・ 現在は地域の特定の推進員との交流が可能となりました。
- ・ 定期的に会合を持っている。
- ・ 北播磨地区の推進員とでイベントの参加(パネル展示、アンケート、クイズ等)
- ・ 京都議定書が発効され、地域で学習会を開催した
- ・ 4- 1に同じ
- ・ 定期的に活動の打合せ会を、明石市環境政策課を通じて行っている。
- ・ 同じ地域の人が集まり、次は何をすると目標等を決めて、意見交換するなど幅広い年齢層の意見が聞けるので役立っています。
- ・ 他地区の活動に参加したい気持ちを持つようになった
- ・ 波賀町では一人だけなので、宍粟市の推進員・協力員と連携して活動していく必要がある

「あまり役立っていない」または「全く役立っていない」と答えた方

- ・ 研修会ではネットワーク作りあまり役立っていないが、他の会に参加することによりできたネットワークが推進員の活動として役立っている。

- ・ ネットワーク活用の機会があまりない
- ・ 情報交換の機会が少ない
- ・ 顔見知りになったが、活動展開に迄結びついていない。
- ・ 一回目のみの出席で2~5回まで病欠のため。
- ・ 実際に活動している回数の違い。
- ・ 自分が知りたい事が答えとしてでてこない。
- ・ 情報交換をするまでには至っていない
- ・ その後お目にかかるチャンスなく、交流もないまま今に至っている。今のところはまだ具体的な動きにまで発展していない。やはり同じグループになり、意見交換したり同じ作業をしたりして親しくなることの上に、次のステップがあると思う。
- ・ 時間的余裕がない
- ・ インターネットを持っていない
- ・ この1年間には効果が出なくても、将来は可能性があると思います。

質問5 今後、推進員・協力員の活動を充実させるうえで、どのような研修内容が必要か。

- ・ 研修の方法はおまかせします。
- ・ 新聞、テレビ等話題になってきましたが、各家庭で取りあげてもらえるよう、家族の関心をどう引き寄せ付けるか。
- ・ 情報交換が必要と考えます。
- ・ 成功例、失敗例の事例
- ・ 温暖化防止の家庭で取り組める有効な方法など、より実践的な内容が必要と考えます。
(例、自然エネルギーの活用、省エネのコツ)
- ・ 自然エネルギー等、現地視察を兼ねた研修会をしてはどうですか。
- ・ いつも一方的に話を聞くだけでは楽しさがない。
- ・ 景気が悪く、収入減、支出の増大(税金他)、生活が厳しい中、省エネ・節約、一方太陽光、水力等自然エネルギーの活用など京都議定書の目標に向かって、タイミングとしては良いのでは。
- ・ 宝塚エコネット・グループに加入して、市民に対する啓蒙のチャンスを求めているが、同グループは環境問題を広範囲に取り組んでいて、温暖化防止は僅かしか対象としてしか取扱われず(温暖化については市民の反応が少ない)活動の機会が少ない。又、行政として市役所は自主的なプランは皆無に等しい。
一方、県としての北阪神地区の活動もグリーンメッセ、総会、2回ばかりの例会があるが、何か、プロジェクトを決めて取り組むことも無く、活動の糸口がつかめない。せめても、県から学校教育とか何か方向とルートを設定して動ける方法を講じてもらいたい。
- ・ 年々「地球温暖化」についての国内、又、世界的規模でTV、ラジオ、新聞など、大きく地球市民の方々のひろまりで「緑の地球、水の地球」の大切さを強く認識をし、そして自分たちの廻りの友人、知人へと広がり強さを感じます。
- ・ 平成16年4月に協力員として登録して2年目ですが、活動方法をやっと理解した程度で活動の充実とか研修内容について何が必要か不明です。
- ・ 今後、推進員・協力員のネットワーク、情報交換を如何に活性化させるかが大切です。
- ・ 北播磨地区内20余名名簿に記載されているが、月例会の出席の数名(5~6名)で特定の顔ぶれです。
- ・ 地域ごとの研修会が必要。できるだけ、少ない行政区域での開催が望ましい。
- ・ H17 グリーンエネルギー学校に申込みしたが、集合場所には「あさごエコハウス」など、車のない協力員はどうするのかと思う。地域環境を考えると、神戸から貸切バスを出してこそグリーンエネルギー学校ひょうご

となると思うが、宿泊形の研修をやらないと人の心の変化は小さいと私は思います。

- ・ 今年4月よりの参加で、どんな事からスタートすべきかまごまご中
- ・ 何回か神戸での勉強会案内を貰っているが交通の便等で参加しにくい。丹波、篠山、但馬地区での開催希望。
- ・ 丹波OB大学、柏原ライオンズクラブ、地域ビジョン委
- ・ 特に研修は必要ではない。実践の伴わないものはほどほどにして余り予算をとるべきでない。
- ・ 実践的活動、例えば地域廃棄物処理システムをこうちくして官民協働の活動をすべきだ。
- ・ センター及び県の活動はお金の使いすぎ。どうでも良い書類、研修はやめるべきだ。そのお金を実践にまわすべきだ。

今の活動ではCO2排出量は減るはずがない。早く気づいて欲しい。委員がそっぽを向いているのが現状です。反省して下さい。

- ・ 一般県民への啓発活動を推進員・協力員に委ねているように思う。もっと市町の行政が防止活動計画を作成推進するように指導(指示)し、その活動の中で、推進員が協力していく体制を取れば、もっと運動が盛り上がると思われる。そうすることにより、推進員として何を勉強しておかなければならないかが見えてくる。
- ・ 人権運動(活動)のように、市町の行政に取り組みさせるべきである。
- ・ 個々の資質、技能は充分あると思う。が、その面での向上を計るテーマで研修会を開きながら、研修後、それぞれの地域活動でお互いが交流できるシステムづくりが、これからの活動を充実させる上で必要と思う。
- ・ 尼崎の場合は、月に1回集まって情報交換をしているので、ネットワークはしっかりできあがっていると思う。
- ・ 研修に関しては、時間があれば参加したいと思いますが、一方的にお話を聞くのではなく、良いコミュニケーションが相互にとれたらいいと思います。
- ・ 推進員の能力には、大きなバラツキがある。全ての推進員が講演会で地球温暖化防止について話せて、聴衆を納得させ得るレベルにまで持って行くことが理想だと思う。
- ・ そのためには、情報の共有も必要だが、能力アップのための研修が必要である。
- ・ ワークショップでグループとしての活動は出来るようになってきているので、その時のグループをそれぞれのメンバーにリーダーとして立場を取らせるようにして、どのようにすればリーダーシップが発揮出来るのか？その人に足りないところは何かもお互いに指摘するくらいはしないと、レベルアップは難しい。
- ・ 現在仕事の都合で(休みは日曜日のみ)研修に出席しにくいのですが、時には日曜日に開催して頂いたら助かります。
- ・ 本人の意識が大事と思うが、もっといろいろな研修の場に出て知識を習得する必要がある。
- ・ 私は教育の会合には努力して出席している。
- ・ グリーンエネルギー学校にも全部出席させていただいた。
- ・ 今後は注意します。 - 参加案内などを注意して見ておくとのこと... -
- ・ 座学やグループ討議だけでなく、フィールドに出て実際の活動をする研修が必須となる。
- ・ 地域に密着した活動内容と情報
- ・ 他地域との交流等
- ・ 地元の地域で市役所の保全課を中心に連絡をいただいでできるだけ都合を付けて参加するように心がけています。
- ・ H16年度第1回わかりやすい県民環境講座「地球温暖化から考える環境問題」楽しく受講しました。
- ・ 淡路島の風力発電の見学会も楽しく参加しました。

- ・ 推進員及び協力員、各々の明確な活動指針を提示する。単なる言葉上の表現にとどまらず、具体的に、推進員及び協力員の交流を推進する。
地域間交流を図る(現況では各市町間にバラつきがあり、必ずしも統一された活動になっていない。)
出来れば、推進員・協力員の区別を無くし、「地球温暖化防止活動ボランティア」というような名称にしてはいかがでしょうか。
- ・ グリーンエネルギー学校の現地編が良かったです。
- ・ 今年も参加したいと思っています。
- ・ 参加した研修は2回でしたが、いずれも有意義な研修でした。
- ・ 日頃、実際に活動している事例をご本人から聞かせて頂く「実例」研修というのはいかがでしょうか。
- ・ 現状で特に問題あるとは思わない。
- ・ 日曜日、土曜日に研修会をしてください。参加者が増えると思います。
- ・ 他の地域と情報交換したい。
- ・ 地元行政との取り組みを必要とする。
- ・ 講演やグループ討議そのものよりも、知り合った人との雑談や情報交換に意義を見出している。従って研修内容は今までと同じで良い。
- ・ あまり意味のない質問をするのを聞いているのは不快。
- ・ 研修会等はほとんど神戸地域が中心となっていますので、丹波からはまず無理です。年に1回の丹波地域の回数を増やして頂けませんか。(最大限3回くらい)
- ・ 県・市との連携プログラムがほしい
- ・ 地区ごとで活動の程度にバラつきがあるように思う。活動が低調なグループに対して、どのように支援するか検討する必要があるように思う。
研修会に参加する人はいつも同じ顔ぶれではないかと思う。推進員・協力員全員がどのような活動をしているかを調べて研修方法を計画していただきたい。
- ・ 研修会や講習会等に参加して環境問題に関する、ある程度の知識は習得出来たと思うので、具体的な実践訓練、体験学習的な研修会の企画を望みます。
- ・ (例) 森林保全の為の枝打ちや植樹活動
水質保全の為の河川や海岸の調査、清掃活動
環境フェア等での一般市民への呼びかけ
- ・ 環境問題に関して、推進員・協力員の間で、考え方が多種多様であり、取り組み方にも難しい点があるので、一度お互いの考え方の討論会を実施したらどうでしょうか。
- ・ 研修の日時は休日の開催も増やして欲しい。ウィークデーは会社勤務があり、参加が困難な側面を伴うものです。
- ・ カテゴリー分けした研修(例えば、廃棄物、エネルギー、運輸、等々)も必要かと思います。総論的研修のみならず、各論的に特化した研修も各々の専門分野から更に深化できるものと考えます。
- ・ 非常に難しい問題であるのですが、生活習慣を変えていく為の、心の教育が必要だと思います。
- ・ 私の場合、せっかく泊まり研修であり、他地域の人と交流する機会が十分にあると思っていましたが、ほとんど出来なかったのが残念でした。
- ・ 行程に余裕が欲しい。
- ・ 研修会には、知識の基本を徹底して、知識がものとなるようにしたい。
- ・ 地球温暖化の現状や、温暖化対策に関する知識を普及・啓発に努力すると共に、地球温暖化対策の推進を図るための活動の推進に熱意をもって実践行動を行うこと。
- ・ 行政の行う、施策への推進活動に協力する。

- ・ 活動を通じて得た情報・事例・意見等をセンターや他の推進員等に提供する。
- ・ 地域連絡会に於いて、地域活動や研修会、情報交換の場として常に参加し、資質の向上に努力する事。
- ・ 温暖化防止活動の具体的事例の紹介
- ・ 環境学習会開催のノウハウについての研修
 - 対象 ・高齢者向け
 - 子ども(親子)向け
 - 目的 ・CO2 削減
- ・ 新エネルギー
- ・ 自然の保護 等々
- ・ 温暖化防止に関する知識は、各自すでに得ている。
- ・ 無関心の人々に、どのような手段が有効なのか、啓蒙・啓発の方法を学びたい。
- ・ 国連や欧州の環境先進国の地球環境問題に対する考え方、取り組み方について、もっと広くPRし、啓蒙すべきである。日本は公害問題については環境先進国であった。ところが地球環境問題については後進国である。そのことを知らない人が多すぎる。日本をはじめ先進工業国は現在のエネルギー消費を 1/10 に減らす必要がある。そしてそのための方策はあるというのが世界の先進的考え方である。「環境・経済・社会の統合」「自然資本主義」「ファクター10」といった提言を研修会で取り上げていただきたい。省エネルギーについても省エネセンターから
- ・ 各種実施例で、成功例を勉強することから始める。
- ・ 具体的に、現存する聞き・装置・理論を学び、各グループで発表していく。
- ・ 少し、推進活動のレベルを上げる。これまでに実施されてきた同じような課題は、マンネリズムとなり、よい成果は生まれない。
- ・ 特にありませんが、興味を引く内容が一番だと思います。
- ・ それに何か楽しいことをつけ加えて下さい。
- ・ 体験型研修がネットワークが広がるのではないか。
- ・ 参加者の地域、名前等名簿をいただきたい。
- ・ 後半にでも少し時間を頂き、感想や意見等聞けようなコミュニケーションをはかって頂きたいと思いました。
- ・ 三木の推進員は、毎月例会を持ち活動内容を相談、発展させている。
- ・ こうした地域毎の集会を各自持つことは、自覚も高まり仲間意識も育ち、楽しく活動出来る、大きな勉強会、研修会はこれ以上無駄。
- ・ 家庭の事情でなかなか参加できておりません。
- ・ 研修に参加する事で新たな知識、刺激を受ける効果は確かにあります。
- ・ 実際に活動しているグループの現場を1時間なりじっくりと見学したい。(幼稚園、小学校、老人大学など)
- ・ 導入、展開など温暖化防止のテーマでもどのようになさっているのか？自分たちの活動のやり方とどこが違うのかなどを話し合う場がほしいです。
- ・ 望んでいたメニューに近いものを今年度実施されることとなったので、とりあえずは満足
 - 内容も要検討かも知れないが、開催場所にも配慮願いたい。
- ・ ブロックごとの研修等を充実した方が良いのでは？
- ・ 大体の年間計画、開催月日と場所を年度初めに発表してほしい
- ・ テキスト資料名簿の事前配布
- ・ 他県の事例発表を毎回
- ・ 国、県、市町村の組織メンバー、どんな事を行っているかが知りたい。
- ・ 時間の調整をうまくしたい。

- ・ 実践活動で伝えやすい方法(マニュアル、口伝)
- ・ 温暖化を止めるには「これ」という特效薬はありません。全ての事が役立つので、様々な研修内容が必要だと思います。
- ・ 開催場所が遠くなく、時間が合うかぎり、参加してゆきたいと思います。
- ・ 具体的活動に直結する手段手法等テクニックメント知識(世界の動向、日本の動向、業界等々と学会等々からの)の両面を別々にはっきり区別しての研修会。
- ・ 学習者が都合と必要性に応じ、適時選択できると良いと思う。
- ・ 座学も必要と思うが、温暖化防止の為に指導員・協力員としてどのようなことを行ったかが重要と思う。
- ・ 毎年実績報告をしているが、その内より優秀と思われるものは発表してもらってはどうか。
- ・ 発表して貰った中から、優秀な者を知事賞、創造協会賞等の名目で表彰してはどうだろうか。
- ・ 地元の誰が推進員か、協力員か交流がないのでわからない。定まった人だけが動いていて、他の人は余り？
- ・ 行政の熱意が不足。合併によりマイナスに転じた。環境学習や実践は身近な地域から始まるべき。町の時の方がずっと行政は協力してくれていたのに、市になった為相談が出来ない。行政での指導を県からしてほしい。
- ・ 温暖化の情報は巷にあふれている。そのため情報の伝達でなく、理解させる方策を教えて欲しい。
- ・ 活動の充実は「人集め」から始まる。地域に根づいていない過去サラリーマンにとって難問となっている。
- ・ 地球温暖化対策の今後の進展
- ・ 第3ステップ以降の課題
- ・ 地球温暖化の予測
- ・ 革新的な技術開発の内容の解説
- ・ 温暖化対策の今後の進展を知る為に必要な情報と考えた。
- ・ 1.「化学」や「生態学」の専門的な分野
- ・ 2.環境を重視する製作を実施して効果を上げた自治体などの担当者からの話
- ・ 中国の環境の専門家を招待して話しを聞く
- ・ どの様な研修でも、どんどん広くPRして、友人、知人も参加できるようなものにしたら良いと思います。
- ・ 近隣の連絡会で相互発表の場を持つようにしてはどうか。
- ・ 推進員・協力員の皆さんの各々の活動または取り組み方の思想について発表して頂き、それらを推進するための問題点等をディスカッションするような進め方が必要ではないかと思います。
- ・ 各地域での実施事例について
- ・ 温暖化の影響並びに具体的な対策(家庭に於ける省エネなど)最新の情報
- ・ 啓発モデル事業についての研修
- ・ 16年度のように、各地域で研修会が開催されたことは、いずれかに参加できるチャンスがありよかったと思う。
- ・ 推進員・協力員が新エネルギーや自然エネルギーについて学んだり、地球温暖化について詳しい情報を入手できる研修が必要であると思います。
- ・ 他地域の推進員の取り組み等、情報交換も研修会ならできる内容です。
- ・ 推進員・協力員だけで施設見学はなかなか計画出来ない
- ・ 研修開催場所、特に1日の場合は豊岡周辺で開催していただければありがたいです。
- ・ 1泊2日の研修でも出来れば豊岡、和田山周辺であればうれしく思います。
- ・ 時には土日、休日に推進員・協力員の家族、子供、孫を交えて共に考える研修も必要ではないか。
- ・ 新しい知識・情報を知りたいので、時々企画していただきたい。

- ・ 各団体の活動状況を知り、参考にしたい。
- ・ 特に思いつかない
- ・ 研修は参加しやすい距離、時間が必要である
- ・ 地域でも県民局単位で実施されることを望みます。
- ・ 宿泊、日帰り(通い)選択制が女性の方には特に必要。
- ・ やはり交流しているのは近くの方が多いので、同じ研修内容でも各地域で実施して欲しい。
- ・ 各地域(県民局単位)の研修の充実を進め人的ネットワークを進める。県域全体では活動にバラツキがあり、目標が遠くに感じてしまう。
- ・ リサイクルで買い物バッグ、節約グッズを楽しく作れる講習等あれば、参考になっていいのでは。
- ・ 内容は良いものが多かったと思います。
- ・ ワークショップ形式の方がよいかと思います。
- ・ 役所の方と共に問題を考えて行きたい。
- ・ ある一つのテーマについて、色々な立場の方からの話しが聞ける場があっても良い。
- ・ 場所の選択ができると参加しやすい
- ・ 県民局後との活動への研修～活動への取り組みへ、組織化と、その活用を計ることはどうだろうか。
- ・ 先進地の視察が効果的かと思います。
- ・ これからはこの知識を活かし何でもいから行動を皆で起こすべきだと思う。
- ・ 阪神北地域でのイベント開催をお願いいたします。
- ・ 最新情報にもとづいた資料が必要(7/22 日本経済新聞の藤井聡 東工大大学院助教授の調査データなど)
- ・ 各地域での取り組みの例
- ・ 平日が多いのでなかなか受講できません。
- ・ 特別な企画よりも、何かの企画と合わせて、幅広い層の人が参加できるような内容の方が良い。堅苦しくない研修をお願いします。
- ・ NPO の活動が表面だたないようにしてほしい。推進員等の活動はあくまでも県の活動の補助だと思いません。
- ・ 全国又は世界の自治体や市民活動で成果が上がったものの実践例を紹介して下さい。
- ・ 又、成果が上がらなかったものは、どこに問題点があったのか紹介してください。
- ・ 1年間の研修で目に見える効果がなくても、それを積み重ねていく中で知らず知らずに身につくものがあります。
- ・ 特に新しい情報に関してはその都度研修して欲しい。
- ・ 行政または教育関係者、事業者との協働のあり方について実践に結びつく様な研修を望みます。
- ・ エコハウスの建設
- ・ 身近なこと(むずかしくないこと)を研修でとり上げてほしい
- ・ 各地域の活動を広く知らせてほしい。
- ・ 実施されている活動で個人的に親しめるものを指導して頂き、活動の中を広げたい。
- ・ 例えば朝来の植樹活動
- ・ 情報の交換は大切です。自分たちでお互いが協力しあって、テーマをその地域で生かして活動が出来る事が一番よい方法だと思います。
- ・ いつも色々な研修を企画していただき、ありがとうございます。
- ・ 燃料電池発電施設、火力、風力発電所の見学等も実施して頂きたいと思います。
- ・ 企業の見学等も実施して頂ければ嬉しいです。

- ・ 施設見学なども加えてほしいです。
- ・ 実質的に効果を上げ得る方法の検討、提言の場を設定すべき
- ・ 一般市民の方に広報活動をする上で、ストップザ温暖化！！を明記した名刺が効果的で、自前で作っていますが、かなりの負担です。センターで作って頂けませんか。頂いている推進員のカードでは字が小さくて意味がありません。